

魚津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

I 公共施設

H その他

経田駅前トイレ

令和3年3月

魚津市

(所管部署：都市計画課)

目 次

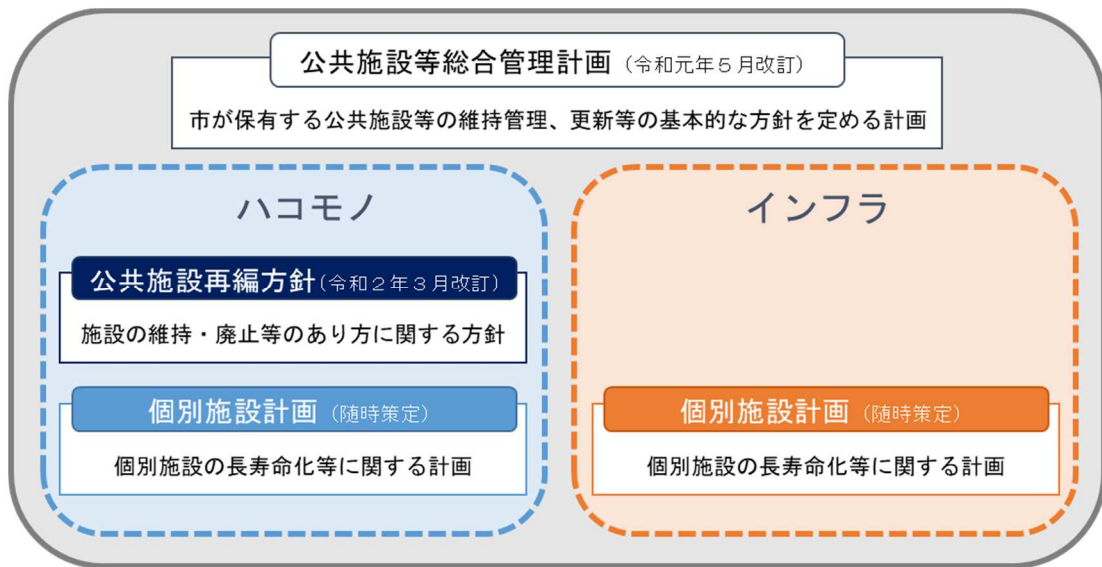
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	P 1
1. 2	対象施設	P 1
1. 3	計画期間	P 1
1. 4	進行管理	P 1
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	P 2
2. 2	位置図	P 3
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	P 4
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	P 5
3. 2	現状と課題	P 5
3. 3	今後の考え方	P 5
3. 4	対策内容と実施時期	P 7
3. 5	対策費用	P 7

1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

1. 1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和元年5月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

魚津市における公共施設等総合管理の概念図



1. 2 対象施設

対象施設は、管理計画における経田駅前トイレとします。

1. 3 計画期間

計画期間は、20年間とします。

1. 4 進行管理

本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

2 施設の状況

2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称	建設 年度	経過 年数	構造 / 階層	延床面積 (㎡)	敷地面積 (うち借地) (㎡)	資産 老朽化 比率	劣化状況	改修状況			
									耐震化 改修	長寿命化改修		
										屋根	外壁	他
1	経田駅前トイレ	H29	2	W/1	22.03	92 (92)	13.30%	—	不要	—	—	—

2. 2 位置図



2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）		収支（千円）							
		H30	R1	H30				R1			
				収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費
1	経田駅前トイレ	—	—	0	0	0	644	0	0	0	644

3 個別施設の方針

3.1 施設の役割

経田駅前トイレは、富山地方鉄道経田駅に隣接され、経田地区の中心に位置しています。また、魚津工業高校の最寄りの駅であることから、多くの通学生に利用されている他、経田地区住民や経田地域への来訪者等が利用する公衆用トイレであり、都市環境の利便性向上に資する施設です。

3.2 現状と課題

経田駅前トイレは、経田駅に隣接し利便性に適した場所に建築（平成30年1月）された比較的新しい施設です。

本施設は、魚津市、富山地方鉄道株式会社、経田地区振興協議会の三者で維持管理作業及び費用を分担しており、魚津市は、修繕及び故障への対応、富山地方鉄道株式会社は、上下水道料金及び電気料金の負担、経田地区振興協議会は、清掃及び消耗品補充等の日常管理等、相互が連携しながら維持管理を行っています。

一般的に公衆トイレは快適性、安全性を利用者から求められており、本施設においても、快適性、安全性を確保していくために、現在の三者による維持管理体制を維持し、日常的な維持管理を適切に行っていくことが重要です。

また、本施設は、木造建築物のため防腐対策が重要なことから、定期的な外壁の防腐処理塗装等の長寿命化対策を計画的に行っていく必要があります。

3.3 今後の考え方

①対策の優先順位の考え方

基本的には、建築年度又は長寿命化改修実施年度からの経過年数が大きい施設から優先的に対策を実施するものとしますが、点検結果や施設の利用状況等の要

因により実施時期が前後する場合があります。

また、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

②保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

③施設の長寿命化について

施設の長寿命化を図るため、事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に転換します。

施設の目標使用年数を60年以上とし、施設の長寿命化改修は建築年度から20年及び40年を経過する年度から5年以内を目途に実施するものとします。

④社会的なニーズへの対応について

施設の長寿命化対策改修に併せ、ユニバーサルデザイン化に係る改修を実施するものとします。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

3. 4 対策内容と実施時期

No	施設名称	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22			
1	経田駅前トイレ	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る												⑮	長寿命化により使用期間を延伸									

※ ⑮は、減価償却資産の耐用年数（経田駅前トイレ（木造）は、15年）を表しています。

※ 本計画は、適切な長寿命化改修を実施することにより、減価償却資産の耐用年数を超えて施設を利用することを目指すものですが、老朽化度調査等の結果を基に、長寿命化改修の実施有無や利用期間などが変更となる可能性があります。

※ 本計画における長寿命化改修や建替え等については、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

3. 5 対策費用

計画期間における概算費用は、「経田駅前トイレ」の施設類型全体で約2百万円です。ただし、現在の市の財政状況では全ての対策を実施することは困難なため、市の公共施設全体で統廃合や複合化を更に推進し、総量縮減を図る必要があります。